

2021年7月1日

発行 黒石すばるの会
http://subaru9614.dip.jp

7月の星空情報

東の星空

日増しに夏らしくなってきましたが、夜空にも夏を代表する星座たちが東の空にあらわれてきました。

これから秋までずっと観察できるわし座・こと座・はくちょう座などです。

そして、これら三つの星座の一つずつある1等星を結んでできる三角形を「夏の大三角」と言っています。

また、空が澄んでいる所では、はくちょう座・わし座と、それに続いて座のあたりに薄くぼーっとした白い雲のようなものが見えますが、これが天の川です。その天の川をはさんだところにあるわし座のアルタイルが七夕の彦星で、こと座のベガが織り姫星です。

なお、図には書けませんが、今、やぎ座に0.3等くらいの土星、また、みずがめ座に-2.8等くらいの木星がいて、どちらも今月は星座の中を少ししか移動しません。

西の星空

春早くからずっと南の空にいて、私たちを楽しませてくれたしし座が西の空に低くなってしまいました。そのしし座の左上には春の星座の代表であるおとめ座があります。

また、月初めにかに座にいた1.8等の火星と-3.9等の金星がどんどん動き、今月13日には金星が火星に追いついて大接近しますのでなるべく観察してほしいものです。

(「7月のおもな天文現象」も参照)

月はじめは 21時ころ
10日前後は 20時20分ころ
20日前後は 19時40分ころ
月まつは 19時ころ

